

アジアのマイノリティの人々の生活・文化・仕事・音楽

よね の

米野 みちよ

国際言語文化学科



- 連絡先 TEL: 054-264-5124
E-Mail: michiyoyonenoreyes@u-shizuoka-ken.ac.jp
- ホームページ 外国人EPA看護師プロジェクト <https://www.epa-project.com>
フィリピン・カリンガ口承伝統 <https://www.iocu-tokyo.ac.jp/~yone/no/database.html>

キーワード フィリピン、ゴング音楽、民謡、先住民、外国人介護士・看護師、在日フィリピン人、在フィリピン日本人、ポストコロナアル批判、米国統治下フィリピン



フィリピン北部の先住民の人々は、フィリピン国家の境界の内側に住む。よってフィリピン人である。しかし、その境界の周縁地域に住む。そして、その周縁地域は、アメリカ植民地時代、そしてその後も、より直接的にアメリカと関わった。彼らは、マニラに行っても疎外感を感じてしまう。時として、自国であるはずの、マニラで生産されるフィリピンのポピュラー音楽よりは、アメリカのポピュラー音楽に、より親近感を見出す。そんなギャップに注目している。

日本にいる外国人は、都会でもいなかでも、日本の社会の周縁にすることが多い。半分日本の社会に根を下ろしながら、心と体の半分は、自国や世界を見ている。

そんな彼らの、マイノリティゆえの、「国家」の境界をすりりと超えていくタフさを、研究しています。

“Filipino Nurse Migration to Japan under JPEPA”

(<https://www.asj.upd.edu.ph/index.php/archive/7-filipino-nurses-migration-to-japan-under-jpepa>)

“Overcoming Language Barriers: Filipino/Japanese Youths as Transmigrants in the Philippines”

(<https://www.asj.upd.edu.ph/index.php/archive/10-asian-studies-51-1-2015-emergin-asian-communities-in-the-philippines-coming-soon>)



アピールポイント

外国人介護・看護人材の雇用や国家試験対策について、情報共有ができる場合があります。